

東日本大震災

ツイッターで僕らも動いた

— ネットを走った船員の想い —

(転載) 内航海運新聞 第2197号 平成23年6月20日 掲載記事

内航船員が多数参加しているインターネット内のコミュニティ「全日本内航船員の会」(松見準代表)から、3・11 東日本大震災における内航船員の隠れた活動について、このほど本誌に次のような投稿がありましたので、広く内航海運関係者に紹介することにした。

3月17日深夜、内航船員が多数参加しているインターネット内のコミュニティ「船員、元船員の連絡帳」(船員コミュ)に緊急の連絡が入りました。内容は、「被災地いわき市で救助を求める住民の声がツイッター上に溢れている。われわれ海上の船員は今、何もできないのか」という憤りを超えた怒りでした。

被災住民の避難所では「餓死者や凍死者が出てくる事態」と、一般人が携帯電話からネットに発信するツイッターが聞こえてくるという情報です。

連絡を受け、全日本内航船員の会でもツイッター情報を確認。船員専用ネットで掲示板にも、船員が早急にできることはあるはずだ。何かやらなければならないという意見が出ていました。会の事務局では緊急を要する事態と判断し、深夜のうちに業界団体「日本内航海運組合総連合会」に対して、以下の趣旨で要望をメール発信しています。

全日本内航船員の会の事務局からご連絡申し上げます。

ツイッターで、先ほどから次のような要望が出ています。なんとか内航総連で業界あげて対応できないものでしょうか。ご検討していただければと、お願いいたします。

「いわき市議の山本健一です。小名浜港復旧、船による物流を期待したい。帰りの船には、自力で移動が難しい避難民を乗せて欲しい。船は自己完結。水、食、通信、衛生あり。このツイッターをご覧の船舶関係者、実現してください。いわきの食、燃料、医療は危機的状況です」

簡単なことではないかも知れませんが、この緊急事態に、このような声を聞き、自分たちにできることとして(失礼ではありますが)早急にご連絡させていただいた次第です。船員たちの中にも以下のような声があります。

